



平成 28 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 **ブルボン**
代表者名 代表取締役社長
吉田 康
(コード番号 2208 東証第二部)
問合せ先 常務取締役 財務管理部長
山崎 幸治
(TEL. 0257-23-2333)

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異 及び剰余金の増配（中間配当）に関するお知らせ

平成 28 年 4 月 27 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）の業績予想と本日公表の実績値との差異に関し下記の通りお知らせいたします。

また、平成 28 年 10 月 28 日開催の取締役会において、平成 28 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の増配を行うことを決議しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値との差異について

(1) 平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想数値と実績値との差異（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	50,000	850	900	950	39 円 54 銭
今回実績値 (B)	51,334	1,230	809	845	35 円 18 銭
増減額 (B-A)	1,334	380	△90	△104	
増減率 (%)	2.7	44.8	△10.0	△11.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	49,618	753	704	442	18 円 22 銭

(2) 差異が生じた理由

当第 2 四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高が前回予想を上回ったことや、経費の効果的使用に徹したことなどにより、営業利益は前回予想を上回りました。一方、円高の進行による為替差損の計上などにより、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を下回りました。

なお、通期の業績予想につきましては、平成 28 年 4 月 27 日公表の予想数値から変更はありません。

2. 剰余金の配当（中間配当）について

（1）配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 28 年 4 月 27 日)	前期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)
基準日	平成 28 年 9 月 30 日	同左	平成 27 年 9 月 30 日
1 株当たり配当金	9 円 00 銭	8 円 00 銭	8 円 00 銭
配当金の総額	216 百万円	—	194 百万円
効力発生日	平成 28 年 12 月 8 日	—	平成 27 年 12 月 8 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2）理由

当社は、永続的に安定した経営基盤の確保に努め、安定配当を継続することとし、中間配当と期末配当の年 2 回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

この方針に基づき、当期の業績等を総合的に勘案し、直近予想の 1 株当たり中間配当金 8 円に 1 円を増配し、9 円とさせていただくこととしました。これにより、期末配当予想（1 株当たり 9 円）を合わせた年間配当予想は 1 株当たり 18 円となります。

（ご参考）配当予想は次のとおりです。

基準日	1 株当たり年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
配当予想		9 円 00 銭	18 円 00 銭
当期実績	9 円 00 銭		
前期実績 (平成 28 年 3 月期)	8 円 00 銭	9 円 00 銭	17 円 00 銭

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上